

令和2年度 無償資金協力「医療機材供与」にかかる医療機器引渡式

令和5年5月23日、田中大使は、ジンバブエの保健分野を支援するために実施された令和2年度 無償資金協力「医療機材供与」(3億円)のうち、納入された一部の医療・病院機器の引き渡しに出席しました。

ハラレ市内の資材倉庫で行われた引渡式典では、チウエンガ副大統領兼保健大臣、国連常駐調整官代理のユニセフ・オイウエイル代表等の出席のもと、ユニセフ、UNDP、UNFPA、WHOを含むジンバブエ政府のパートナーから提供された他の医療機材等も引き渡しが行われました。

今回引渡された医療機材は、最先端の日本製ベッドサイドモニターと除細動器で、今後12カ所の中央・州病院等に設置される予定となっています。

チウエンガ副大統領は挨拶の中で、ジンバブエの保健セクターに対する日本及び国連機関からの支援に対し感謝を述べました。また、オイウエイル国連常駐調整官代理は、ジンバブエの医療サービスの質を向上させるためのジンバブエ政府、パートナー、関係ドナーによる総合的な努力について称賛しました。田中大使からは、日本は引き続きジンバブエの持続可能な開発と保健セクターの強化を図るための支援を継続していくと述べました。



到着した機材等の紹介



式典に出席した医療関係者等



チウエンガ副大統領兼保健大臣挨拶



本使挨拶



提供された医療機材